

戦 評

| | |
|-----|------------------|
| 大会名 | 第65回岩手県中学校総合体育大会 |
|-----|------------------|

男子決勝

会場； 一関市総合体育館

主審； 千葉 啓一

副審； 及川 裕生

金ヶ崎 2 { 23 - 25
25 - 9
25 - 12 } 1 下橋

試合時間 1 時間 1 分

戦 評

第1セット、下橋は1番松浦、3番西川の左右からの攻撃で得点を重ね先行し、中盤以降も金ヶ崎の守りを崩し22-11と大きくリードする。ここから金ヶ崎は3番北條のサーブからリズムを取り戻し、1番荒井のアタック、ブロックなどで得点をあげ24-23と猛追をみせるが、下橋は1番松浦の強烈なスパイクを決めセットを先取する。第2セット、金ヶ崎はダイナミックなコンビバレーを展開し、下橋に的を絞らせず得点をつみあげセットを奪い返す。第3セット、中盤まで得点を取り合う展開となったが、金ヶ崎は1番荒井の連続サービスエースで流れを掴むと、7番石川、3番北條、6番畠山のアタックが次々と決まる。対する下橋は1番松浦の強打、2番高橋の速攻などで流れを切ろうとするも、金ヶ崎は7番石川を中心とした多彩なコンビバレーで優位に試合を進め危なげなくセットをとり勝利した。

7～19行にまとめること

戦評者 遠藤 哲哉

戦 評

| | |
|-----|------------------|
| 大会名 | 第65回岩手県中学校総合体育大会 |
|-----|------------------|

女子決勝

会場； 一関市総合体育館

主審； 岩 淵 陽

副審； 佐々木 学

雫石 2 { 28 - 26 } 0 胆沢
 { 25 - 21 }

試合時間 0 時間 55 分

戦 評

シード校を破り勢いのある軽米を抑えて勝ち上がった選抜大会の覇者雫石と、新人・選抜で準優勝した上野をフルセットの末退けた春季大会の王者胆沢の決勝戦。第1セットは終始1点を争う攻防を繰り広げデュースへともつれ込む展開となったが、雫石は3番佐々木のサーブから流れを引き寄せ、最後は7番菅原のスパイクで接戦をものにした。

第2セット、雫石がリードしそれを胆沢は3番佐藤(望)を中心に追う展開となった。中盤以降雫石は4番横手の強打・プッシュから差を広げ、最後も4番横手のライト攻撃が決まり優勝を手に入れた。

7～19行にまとめること

戦評者 小野寺 智